

台風 18 号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり、台風 18 号は今後、日本列島に接近することが予想されております。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風 18 号の進路予測

今朝(9月30日)午前5時5分、及び午前9時50分の気象庁予報部発表によると、台風 18 号は与那国島の南にあっておよそ 20km/h の速さで北西へ進んでいます。今後、発達しながら北上し、今夜にかけて暴風域を伴ったまま強い勢力で先島諸島に接近する見込みです。

中心の気圧は 975hpa、最大風速は 35m、最大瞬間風速は 50m で、中心から半径 390km以内では風速 15m以上の強い風が吹いています。



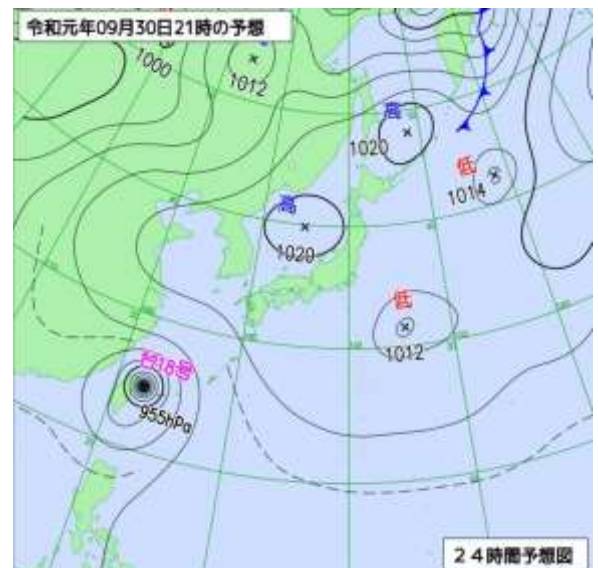
台風 18 号の進路予想 (9/30 午前 9 時 50 分気象庁発表)

2. 気象予想

台風 18 号は今夜にも沖縄の尖閣諸島に最接近して暴風雨をもたらした後、進路を北東に変えて朝鮮半島から日本海へ進み、九州接近は 10 月 2 日(水)頃と見込まれています。

今回の台風は、台風 17 号の進路よりやや西側を大回りすると見込まれていることや、本州付近では秋雨前線が日本海に北上している状態で西日本に接近するため、大雨の影響は限定的との見込みもあるものの、一方で、10 月 2 日(水)から 3 日(木)にかけて九州北部や本州の日本海側で暴風や大しけとなるおそれとの予想もされています。

なお、夏から秋は海水温が高いため年間潮位自体が高い時期ですが、さらにこの数日は大潮にあたりますので、満潮時の時間帯を中心に潮位がかなり上昇することが予想されます。南西諸島では高潮にも十分な注意が必要です。



今夜午後 9 時の予想天気図 (気象庁)

台風 18 号の雨雲は南側に大きく広がっているため、台風から離れた場所でもご注意くださいとともに、早めの事前対策をお願いします。

3. 事前の対策について

沖縄地方では本日 9 月 30 日(月)お昼過ぎから 10 月 1 日(火)明け方にかけて猛烈なしけとなり、予想される最大瞬間風速は 60m/s、波の高さは 10mとなっていますので、暴風や高波への嚴重な警戒が必要です。その後、10 月 2 日(水)から 3 日(木)にかけては、九州北部を中心に暴風や大しけとなるおそれがあります。

台風対策の基本は、風雨からの『遮断』と浸水に対する『高所避難』となります。台風到来直前の主なチェックポイントと対策をご紹介します。併せて、**現場用点検チェックシート**を添付致しましたのでご活用下さい。

<気象情報と事前対応>

- ✓ 気象情報をこまめに取得し、過去の災害事例などと共に関係者と共有する
- ✓ どのタイミングで何をするのか、具体的な事前対応について再確認する

<屋内保管貨物>

- ✓ 「ネステナー」「パレットサポート」などを活用して貨物を嵩上げする高層ラックにおいては、高い棚に貨物をはい替える
- ✓ 倉庫 2 階やメザニンなどの高所に貨物を避難させる
- ✓ 空きトラックの荷台に貨物を避難する
- ✓ 近隣に安全な倉庫がある場合は重要貨物を避難させる

<屋外保管貨物>

- ✓ 可能な限り貨物を屋内へ避難させる
- ✓ やむを得ず屋外保管をする場合は、屋外のなかで最も地盤高が高く、強風や波を直接受けない安全な場所へ移動させる
- ✓ 防水シートやカバーで保護し、強風で飛ばないように、貨物・防水シート・カバーは強固に固定する

<倉庫・設備>

- ✓ 建物開口部から浸水しないよう止水装置を設置する
- ✓ 排水溝を清掃し、排水能力を確保する
- ✓ 電気系統などの重要な設備は嚴重に止水対策を講じる
- ✓ 窓・扉等の開口部の内側を養生する
- ✓ エレベーターなどを 2 階以上に移動させておく

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」
http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html



【出典】 気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。